

薬剤科 クリニカルインディケーター（平成22年度）

目的

①調剤過誤件数の減少を目指す。

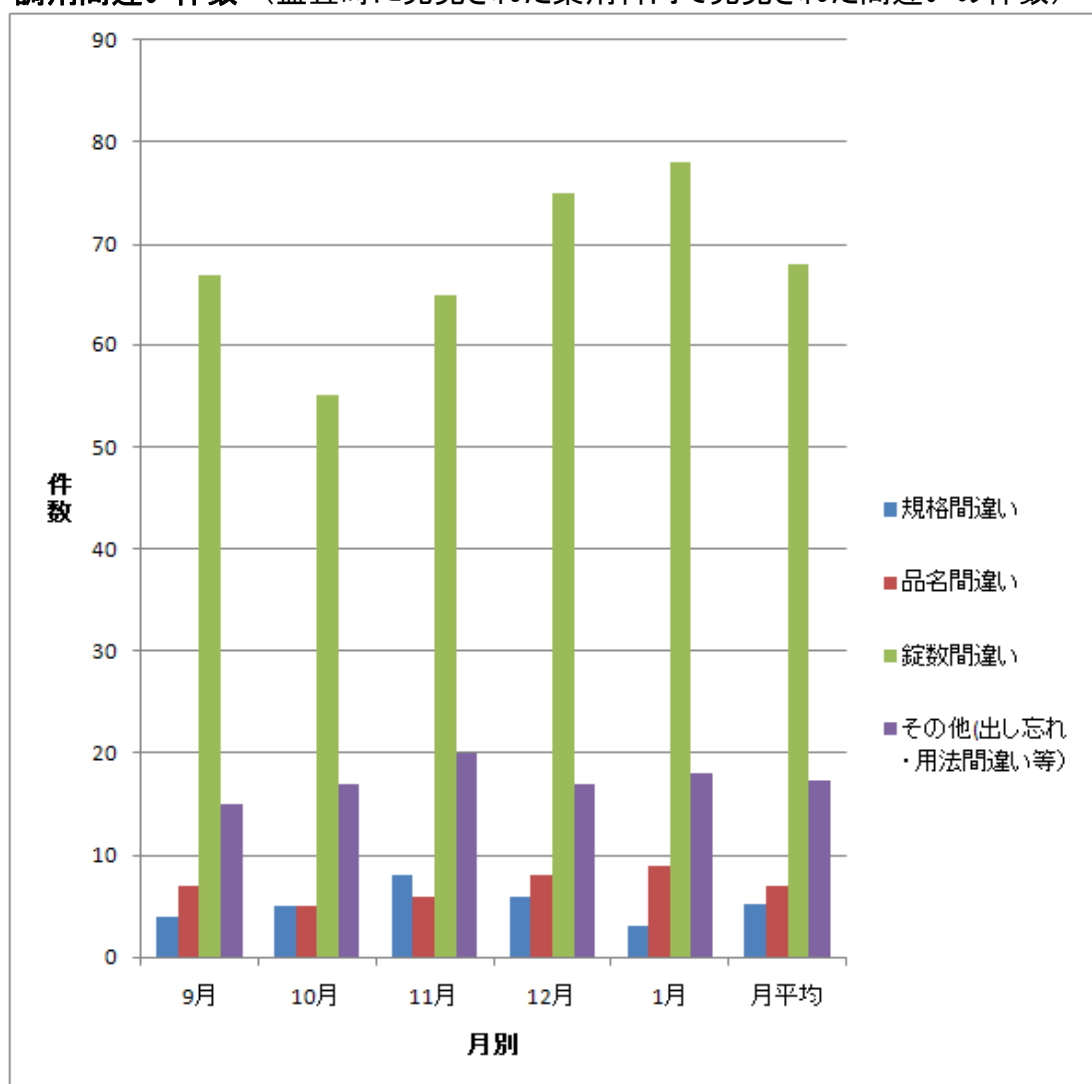
②医薬品適正使用に貢献し、安全な薬物療法に繋げる。

コメント

①調剤過誤を分析したところ、錠剤間違いが圧倒的に多かった。これをさらに分析したところ、調剤と鑑査を一人の薬剤師が行う当直時間帯が多い事が判明した。この時間帯の過誤防止策として処方箋に調剤した薬品名を記載し、入力された薬品名との整合性をみるなどの工夫を行った。更に画像鑑査システムを新規導入し、このシステムを多くの処方箋に使用し、調剤過誤件数の減少を目指している。

②平成22年1月よりインジケーター件数として、プレアボイド報告を始めたが、スタッフは軽微な事例を対象としなかった為、報告内容に偏りが出てしまった。薬剤科内にて報告基準を再確認したため、件数は増えると考えられる。

調剤間違い件数（監査時に発見された薬剤科内で発見された間違いの件数）



プレアボイド件数

